



# 平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ロータリーは  
機会の扉を開く

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2021年 4月15日 第 3306 回 週報第 3306 号

本日 4月15日	会員数 61名	対象者 60名	出席者 41(40)名	出席率 67.21%			
前々回 4月1日	会員数 62名	対象者 61名	出席者 38(38)名	出席率 62.30%	MUP 2名	計 40名	修正率 64.52%

## 本日の卓話者ご紹介

写真家  
田村美樹(たむらみき)様



## 卓話

写真家 田村美樹

写真家の田村美樹と申します。

デジタルカメラの他、フィルム、針穴カメラやサイアノタイプ、その他レンズ無しの特異な方法を使って様々な作品を制作しています。基本、「綺麗だな～」と思える景色や花などを撮ること「だけ」が好きで、故に私はどちらかといえば、カメラマンではなく写真家と呼ばれる者なのだろうと思っています。

2018年に平塚美術館、2020年に駅前の元麻布ギャラリー平塚店で『私小説、平塚。～半径二キロの光～』という写真展を開催しました。タイトル通り、自宅から半径二キロの中での美しい景色を切り取った写真です。

<https://www.youtube.com/watch?v=jW6GaEsU1r4>  
(田村美樹 写真家)でも出て来ます)

5～6年ほど毎日のように近所で撮りためた写真、数万点から約百点を選んで展示をしました。三脚は使わず、加工やトリミングも一切していません。

富士山を背景にするため、動かずに鳥を撮った時は身体中 200ヶ所くらい蚊に刺されたり、春の桜の頃には鳥

から真っ暗になるまで撮り続け、近所なのに家に帰る体力が残っておらず遭難しそうになりながら撮影しました。

美術館での写真展の際に「こういった写真展は初めて見た」と言われました。なぜかと思った時に「一般的に風景写真は広角レンズで広く景色を撮る引きの写真が多いのですが、私の写真は望遠を使った“寄り”の写真が多いからかも？」と気付きました。女性の視点のみの風景写真がそういう感じを与えていたのかも知れません。

男性と女性は長い狩猟採集の時代に培った目の能力の違いがあります。男性は狩猟、“狩り”をする為に全体を見渡す能力と動体視力が発達し、女性は果物などの採集と子育ての為に、色の識別能力が高くなりました。

例えば果物の熟し方を色で見分けたり、言葉を話せない赤ちゃんの顔色を見て判断する能力です。男性と女性で色の見え方や視点がかなり違っているんですね。

私は近場の観光地として鎌倉が好きなのですが、理由の一つに観光地では皆にここにこして歩いているという事

があります。そして、そこいら辺に生えている草木を初めて見る物のように喜んで撮っている。その様子が微笑ましいと思うのです。普通にどこにでもたくさんある草木なのに、多分普段は目に入っていないのですね。でも観光で来て興味も好奇心も沸いて楽しくなってきょろきょろと見渡しカメラを向ける。



皆様も思い当たる節はありませんか？

ちなみに私は平塚生まれ育ちではありません。これら見て頂いた写真はほんとに近くばかりなのですが近所の人に「あの河原で8割方撮ったんだよ」と言うのが驚かれます。「え？ほんとに？こんなところがあるの？」と。

町おこしなどにはよく「よそ者、若者、ばか者」が必要だと言われます。

確かに慣れすぎた風景は目新しさが無い分、良いところを見つけるのが難しくなるのかも知れません。私はよそ者ゆえに、その土地の良さを見つけられるのかも知れません。

今はスマホもありますからいつでも気軽に写真が撮れます。インターネット、YouTube、フェイスブックなどの各種 SNS に記録や公表することも出来ます。プライベートの趣味として、またお仕事のツールとしてこれらネットを活用し、写真を皆様の生活や仕事に生かしていく提案もしていきたいと思えます。

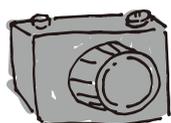
卓話者ご紹介

田村美樹(たむらみき)様

- ・1969 年 生まれ
- ・1993 年 日本大学芸術学部写真学科中退
- ・2016 年 2 月 清澄白河 Ls café にて『好きニ咲ク』個展開催
- ・2016 年 4-5 月 自由が丘 SORA にて『好きニ咲ク』『REAL MY DAUGHTER』個展開催
- ・2011 年から 針穴写真協会に所属、毎年江東区文化センターにて合同展に出展している。
- ・2016 年 8 月 RAIEC 主催、六甲山国際写真祭にレビューイとして参加
- ・2017 年 4 月 RAIEC 主催 2017RAIEC Tokyo 合同展を 3331 アーツ千代田にて開催
- ・2017 年 エプソングランプリにおいて「V-edition 賞」を受賞
- ・2018 年 3 月 15 日～9 月末まで原宿 sora an にて『A girl, doll, daughter』を開催
- ・2018 年 6 月 JCII フォトクラブ 25 「In the darkroom 黒白写真フリーク展VII」合同展
- ・2019 年 エプソン主催「meetup！」において審査員賞受賞
- ・2019 年 9 月 平塚美術館市民アートギャラリーにて『私小説、平塚。～半径二キロの光～』個展開催
- ・2020 年 8 月 SPEACE K 代官山にて『廃園』データの花シリーズより個展
- ・2020 年 10 月 『Re: 私小説平塚。～半径二キロの光～』元麻布ギャラリー平塚にて個展



鳥山会長と田村美樹様



週報プチギャラリー



夜桜



箱根山



赤い鳥



水面と草

私小説、平塚。～半径二キロの光～ (<https://www.youtube.com/watch?v=jW6GaEsU1r4>) より



## 会長報告

最初の緊急事態宣言が発令されてから、1年が経ちました。コロナ前、コロナ後といわれるように私たちの生活は大きく変わりました。しかしそれはネガティブなものだけではありません。ポジティブな変化もあったと私は確信しています。

先週の例会が終わった後、親睦委員会のメンバーが集まって家族例会をどのように実施していくかを話し合いました。これまででも例会の後に話し合いをすることはありましたが、先週は十数名いるメンバーのほとんどが、また先週入会したばかりのメンバーも残って参加してくれました。

こういう時期なので、家族を呼ぶことはできない。でも参加できない会員や家族を喜ばせたい。そうだ、インターネットを使って何かコンテンツを提供できないだろうか。こんな熱い議論が交わされました。また、毎年平塚市緑化祭りで開催している巣箱づくり教室が今年はコロナのため開催できません。そこで、楽しみにしている人たちのため、高橋建二さんに協力してもらい巣箱づくりの様子を動画で配信するのはどうでしょうか、と提案がありました。もちろんWEB例会のスマイルボックス委員会の活動もご存じのとおりです。

いずれの委員会もコロナをきっかけに、より活動的になってくれていると私は感じています。特にインターネットを使った活動は今までになかったことです。様々なアイデアを皆さんが自発的に出してくれることが、本当にうれしいし、感動しています。

さて、なぜ平塚ロータリークラブがこのような状況下でもポジティブな変化を遂げることができたのか。インターネットの便利さに気づけたから？ 時代の流れがオンラインになっているから？確かにそれもあるかもしれませんが、でも一番の要因は、みなさんが知らない世界に飛び込み、やったことのないことに挑戦することがたまたま楽しくないか！ということに、気づいたからではないでしょうか。

コロナのことは今後もどうなっていくかわかりません。でもだからこそ、やってみなきゃわからないことがたくさんある。自発的で活動的でポジティブになった平塚ロータリークラブに怖いものはありません。これから皆さんと手を取り合って、前へ、前へ進んでいきましょう。

巣箱を作ろう 平塚ロータリークラブ

検索

YouTube

You Tubeで  
「巣箱を作ろう  
平塚ロータリークラブ」  
と検索するか、  
右のQRコードから  
ご視聴ください。



## 幹事報告

◎来週の例会日4月22日の17時より平塚斎場にて故・小泉芳郎会員の合同葬が行われます。

ご参列可能な会員はぜひ小泉会員をお見送り頂けますよう、お願い致します。

## 委員会報告

・今週の委員会報告はございません



本日入会式の平塚信用金庫本店営業部長の市川雅範様と鳥山会長

## 今週のお祝い

誕生日祝い・・・今週はございません  
結婚祝い・・・今週はございません

メイクアップ (MUP) 2名

小林誠会員、常盤卓嗣会員

本日のスマイル 11名

ゲスト 1名

写真家 田村美樹様

ビジター 0名

## 卓話・行事予定

4月22日(木) 入会記念卓話 松本崇 会員  
4月29日(木) 祝日により休会  
5月 6日(木) 通常例会

市内例会変更

ございません。

